

いかほどであったか。それがとりわけ、文帝への信頼感が強かっただけに、彼の、その失意の念は屈原の比ではないと言うのである。

そして更にもう一つの道真の「官舎幽趣」の十二句目の句内容に深い投影を窺わせる白詩が存在する。

〔3〕 0931 憶微之、傷仲遠 李三仲遠去年春喪

幽獨辭羣久 ゆうどく 幽獨して羣を辭すること久しく

漂流去國賒 ひゅうりゅう 漂流して國を去ること賒かなり

只將琴作伴 ただ 只だ琴を將て伴と作し

唯以酒爲家 ただ 唯だ酒を以て家と為す

感逝因看水 し 逝に感じて因つて水を見

傷離爲見花 はな 離を傷んで為に花を見る

李三埋地底 り 李三は地底に埋まり

元九謫天涯 げん 元九は天涯に謫せらる

舉眼青雲遠 め 眼を擧ぐれば青雲遠く

回頭白日斜 かぶ 頭を回せば白日斜めなり

可能勝賈誼 か 可に能く賈誼に勝らんや

猶自滯長沙 なほ 猶ほ自ら長沙に滞れり